

(第3種郵便物認可)

夢は日本野球機構(NPB)のプロ選手。でも甲子園は目指さない。野球の独立リーグ・ベースボールファーストリーグ(BFL)は、高校を中退するなどした10代後半の選手が参加する育成チーム「シリウス」を始動させた。いじめや不祥事などで一度は野球を諦めた7人がプレー。三田市を拠点とする兵庫ブルーサンダーズ(ブルサン)などに所属し、シリウスとしてもほかの若手とともに試合に出場している。

7人は、ブルサンの三山篤郎投手(17)、黒田優斗投手(18)、小林勇誠内野手(17)、林泰成捕手(18)と、和歌山県田辺市の和歌山フアイティングバーズ所属の阿次富雄大内野手(18)、河合一道投手(17)、永井大翼捕手(18)。

「高校で野球をやめた時にほかの道がない。才能ある球児の受け皿をつくりたかった」。そう話すのはブルサンと和歌山、両球団の代表に就く高下沢さん(34)。チームを運営する中で、家庭の事情や指導方法、いじめなどを理由に野球をやめた中高生からの相談が多くあった。

高校や大学の野球部に所属しなくてもNPBを目指す場をつくらうと、6月にシリウスを結成した。日本高校野球連盟に加盟していないため甲子園には出場できないが、NPBで活躍した元プロ選手の指導を受けながらドラフト指名を目指す。

目指せ将来のスター

野球の独立リーグBFL

育成チーム「シリウス」始動



いじめなど乗り越え

三山投手は140センチのストリートが持ち味で、大坂市の大阪信愛学園でエー

と語る。スとして活躍。しかし、きつい練習に疑問を感じて退学し「やらされる野球では成長できない」と4月にブルサンに入団した。プロ野球巨人3軍との交流試合にも出場し、「力の差を実感できるので、自分に何が足りないのかを考えられる」と語る。

(山脇未菜美)

阿次富内野手は甲子園の常連、神村学園(鹿児島県)の4番だったが、不祥事で退部した。野球への思いを捨てきれず、紹介で和歌山に入った。「自分には野球しかないから、やり直せる場所があるのありがたい」と感謝する。黒田投手は、宮崎日大高校出身。1年から試合に出ているが、先輩との人間関係に悩んで中退。去年は元プロ野球阪神で活躍した井川慶投手(39)とプレーしており、「フォ

獅子銀 陶の郷店
079-597-2173

ームを間近で見られて貴重な経験をしている」と話す。シリウスは1等星で、未来のスター選手が育つようにと名付けた。現在は7人に若手メンバーが加わり、リーグ所属のチームと試合を行っている。今後はプロとの交流試合も検討する。高下さんは「NPBを目指す大人と過ごす中で、考える力や人間力を養ってもらいたい」と話す。

シリウスのメンバー。(前列左から)永井、河合、阿次富、林の各選手。(後列左から)小林、黒田、三山選手。神戸市北区有野町二丁目、あじさいスタジアム北神戸